

地域の情報をお届け!

呉トピックス



▲実った稲を一齐に刈り取る会員

酒米「呉未希米」収穫

呉市郷原町で9月中旬、2023年産酒造好適米が収穫を迎えました。広島県オリジナル「八反錦1号」を「呉未希米」のブランド名で出荷。産地全体で3haを作付け、収量15tを見込みます。

「呉未希米」で造られた純米酒は水、蔵元と「オール呉産」の地酒。来年2月から、「宝剣」「雨後の月」「華鳩」の銘柄で販売を予定しています。

郷原10区東農業研究会の中谷信雄会長は約2.2haで10tを収穫。夏場の日照りで生育が心配されましたが、実入りも良く例年並みの仕上がりになりました。

収穫した酒米は、速やかに同JAの酒米用乾燥調整施設に搬入。2週間かけて乾燥させます。



農業体験を通して自然の大切さやありがたさを知ってほしいと警固屋地区の有志が取り組み、今年で28年目。JAや市と協力して植え付けや収穫体験などを盛り込み、地域と学校をつなぐ架け橋の役割を担っています。

児童らは目印に名前を書いた旗を立て、JA職員や地区の有志に手伝ってもらい白菜の苗25本と大根の種を播いた後、大きな声で「おおきくなあれ」と願いを込めました。



▲丁寧に白菜の苗を植え付ける児童ら

久しぶりの植え付け体験 呉市立警固屋小1年生



連覇達成!! 呉地域本部野球部 ～第47回 広島県JA役職員定期野球大会～

呉地域本部野球部が第47回広島県JA役職員定期野球大会で優勝しました。安芸地域本部との決勝戦は逆転サヨナラの7対6で制し、連覇を達成しました!

今大会は8月下旬から9月上旬にかけて呉市の鶴岡一人記念野球場(呉二河球場)で行なわれ、県内JAグループから14チームが参加。選手やマネージャーの勇姿を一目見ようと役職員や家族が大勢駆けつけ、声援を送りました。



優勝旗を受ける
高田大輔主将
(郷原支店)



最高殊勲選手賞に
輝いた中田光稀選手
(郷原支店)





落葉果樹

イチジク

収穫も終わり、樹は落葉し始め休眠期に入ります。落葉時期に入っても、枝の先端にいつまでも緑色の葉が残っている場合の原因として、枝の充実が悪く、肥料が遅効きしている可能性が考えられます。樹の状態を確認し、今後の栽培管理に生かすように心掛けてください。

土づくり

イチジクの収穫期間は長く、毎日園地に入ること、園内は踏み固められています。そのままの状態では、肥料やかん水の効きが低下します。完熟たい肥の施用と中耕、客土などを実施します。

イチジクの果実状態の原因と対策

◎青い果実が多い、落葉が遅い

原因	対策
樹勢が強すぎる	・施肥量、施肥時期の見直し ・せん定は間引きを主体にする ・誘引や整枝などを行ないながら樹冠拡大する

◎小玉果、ヤケ熟れ果が多い

原因	対策
樹勢が弱い 水不足 病害虫被害	・せん定は切り返しを主体にする ・土づくり（中耕・客土の実施） ・基本防除の徹底 ・かん水の実施（かん水設備などの設置） ・苗木への改植

▽園内の清掃

越冬病害虫を園内から排除するためにも、落葉した葉や最後まで収穫できなかった果実を集めて園外へ持ち出し処分しましょう。

■苗木の植え付け準備

イチジクは、植栽後の樹冠拡大が他の品目と比べ早いです。植栽間隔は広くとるようにしましょう。

カキ

▽収穫

収穫の際は、果面の果粉を落とさないように気を付けましょう。

また、収穫カゴの内側に布を張るなどして、果実に傷がつかないように十分注意しましょう。

富有柿は大玉でヘタスキが発生しやすい特徴があり、ヘタスキ果は日持ちが悪くなるので、収穫時に仕分けておく必要があります。

モモ

▽排水対策・土壌改良

モモは浅根性で耐水性に弱い特徴があります。

排水の悪い園地で栽培されている場合は、排水対策（明きょや暗きょなど）を行なったうえで土壌改良を行なうのがよいでしょう。

また、一部の園地で若樹でも幹からゼリー状の物質が発生しているこ

家庭菜園

11月は本格的な冬に向かって少しずつ寒さを増していき、野菜の生育に影響を与えることもありますので、次の点に気を付けながら作業を行ないましょう。

○植え付け時期

11月になると気温が低くなり、種や苗を植え付けてもすぐに寒い冬を迎えることとなります。そのため生育できる野菜の種類には限りがあります。

○トンネル掛けとべた掛け

気温が下がって発芽適温や生育適温を下回り、発芽しない場合や健全に生育できず苗が弱ってしまう場合はトンネル掛けを行ない、野菜を守りましょう。害虫対策や防風として

ます。12月に入るとさらに冷え込みが厳しくなるため、温暖な地域でも植え付けは厳しくなります。

また、11月に植える野菜は収穫が春以降になるものが多いのも特徴の1つです。来春にかけて収穫する作物の種まきや植え付けは、11月中旬に済ませておく方がよいでしょう。

気温が下がって発芽適温や生育適温を下回り、発芽しない場合や健全に生育できず苗が弱ってしまう場合はトンネル掛けを行ない、野菜を守りましょう。害虫対策や防風として

おすすめの野菜 ～タマネギ～

タマネギの苗の植え付け適期は11月中旬から12月中旬にかけて。

酸性の土壌を嫌う植物ですので、元肥や堆肥でしっかりと土作りしましょう。秋や春には、べと病が発生しやすいので適期に防除しましょう。

また、冬場は苗の根元をしっかりと固めておくと、霜がついて苗が浮き上がってくるのを防ぐことができます。

栽培のポイント

土作り

植え付けの2週間～1カ月前くらいから用土の準備を始めましょう。

畑に1㎡あたり苦土石灰を100g～150gほど施して耕し、よくなじませましょう。

その後、植え付けの1週間くらい前に、堆肥を約3kgと化成肥料約100g、ようりんを約30g加えてさらに耕します。土の準備が整ったら、15cmの穴をあけた黒いマルチを用意して被せておきましょう。株間は15cm程度あるとよいでしょう。

苗の選び方

苗を選ぶ際は植え付けの時期にあわせて選ぶようにしましょう。

11月中旬から下旬に植え付けるのであれば早生品種、11月下旬から12月上旬であれば中生・中晩生品種が適しています。

追肥

植え付けてから25日程度が経過したら追肥を行ないましょう。マルチの穴ごとに化成肥料をひとつまみずつ置いていきます。葉の色が薄い場合はもう一度施した方がよいでしょう。

水やり

基本的には必要ありませんが、乾燥が激しい場合にはたっぷりと与えるようにしてください。

収穫

収穫適期は5月～6月にかけて。この時期になると茎が倒れてきます。8割程度が倒伏したら収穫しましょう。天気の良い日を選ぶのがポイントです。

○害虫対策

気温が低く害虫が発生しにくい時期ですが、主にアブラナ科などに食害するヨトウムシやアオムシなどの害虫が活動する時期でもあります。防虫ネットなどを用いた防除や農薬を適切に使用しましょう。

布・防虫ネットなど様々な種類があるので、目的に応じて使い分けましょう。べた掛けでは主に不織布と寒冷紗があります。



11月になると各樹は落葉時期が始まり休眠期を迎えます。先月に引き続き土壌改良、落葉処理、間伐、苗木の植え付け準備などの作業があります。

11月になると各樹は落葉時期が始まり休眠期を迎えます。先月に引き続き土壌改良、落葉処理、間伐、苗木の植え付け準備などの作業があります。

とがあります。これは、極端に乾燥しやすい園地や土質によって発生するとも言われています。土壌改良（堆肥の投入など）し細根量を多く保つことが重要となります。

ときめき ♡ 女性部通信

広島県家の光大会 記事活用体験発表 大古支部 重松支部長が出場

9月中旬、J Aビル（広島市）で令和5年度広島県家の光大会が開催され、記事活用体験発表の部に呉地区本部大古支部支部長の重松鈴子さんが出場しました。

この大会は『家の光』の記事を使った活動を発表する場で、県内J Aから8人が出場。

重松さんは「どんどんひろがれ、笑顔の輪!」と題して、環境家計簿や『家の光』読書会、支部活動を通した仲間づくりなどについて発表しました。



▲発表する重松支部長



▲応援に駆け付けた部員の皆さんとJ A職員

往年の選手が講師に 女性部呉地区本部リーダー研修会



▲熱のこもった講演をする木下氏

女性部呉地区本部は9月中旬、呉地域本部でリーダー研修会を開き、部員75人が参加。支部事務局や部長、課長、支店長ら24人も集まりました。

講師に広島東洋カープOBで野球解説者の木下富雄氏を招き「チームリーダーの役割とは」と題して講演。講演後は、木下氏のサイン入りTシャツやボール、写真撮影権が当たる抽選会も行ないました。

講演会は木下氏が現役時の話を交えながら「トップが変われば意識改革が必要。チームが一つになり目標に向かっていく力は人数の何倍もの力が生まれる」と話し、よりチーム力を発揮するため一人一人が考えて行動しようと呼び掛けました。

抽選会は木下氏と同地域本部の大下俊哉常務理事が客席にボールを投げ、キャッチしようとう会場は大いに賑わいました。

部員の皆さんは「往年の選手から貴重な話が聞けてよかった」「今後の活動に活かしたい」と笑顔でした。



▲サイン色紙を受け取る部員

福をマネー

あなたのうちへ

1月号
別冊付録

12月号
第1・第2
別冊付録

『家の光』12月号・1月号
購読申込受付中!

ちぎり絵
ブック

2024
家計簿

家の光

JAグループ 家の光協会

お申し込みは
お近くのJ Aへ

JAグループ 家の光協会

〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 [TEL] 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

©umetigiri